

ふくい 農業をする!

福井県就農応援ガイドブック



FUKUI
FARMER

施設園芸



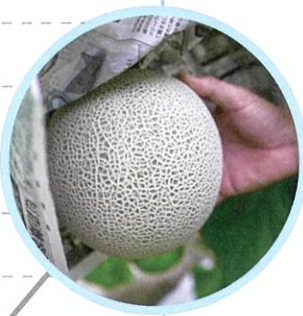
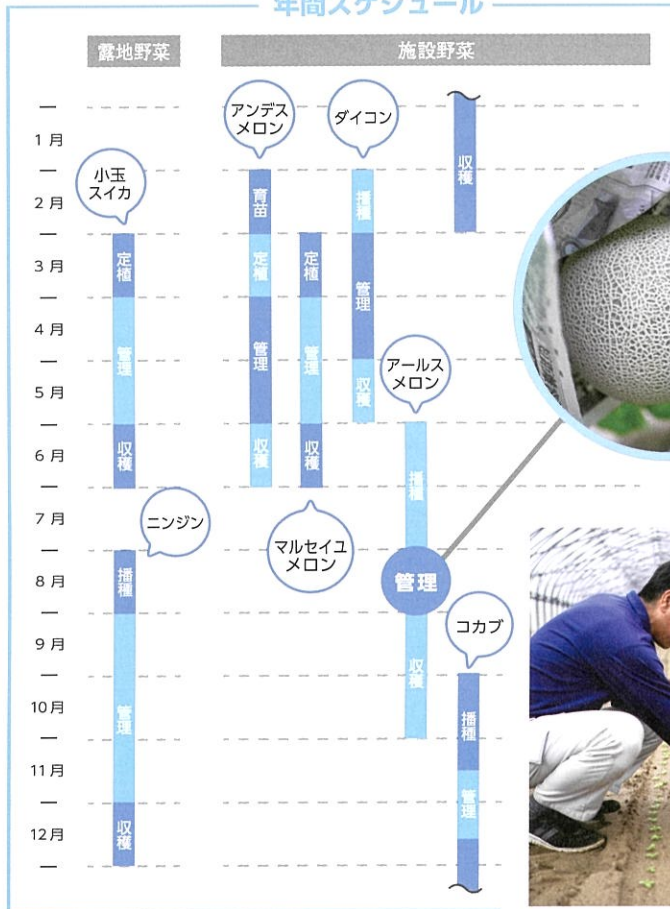
山本 賢一さん

メロン スイカ
コカブ ニンジン ダイコン

石川県出身。2014年ふくい園芸カレッジに第1期生として入学。2016年に坂井市で就農。施設と露地で周年栽培を行う。

施設野菜と露地野菜を 組み合わせた

年間スケジュール



1 農業にチャレンジ

石川県にいた頃は、農業とは無縁な仕事をしていました。新しいことにチャレンジしようとした時に、妻の実家が福井でメロンを栽培していたこともあり、農業を仕事にすることを決めました。

2 経営が安定↓拡大

就農3年目までは、正直続けていけるか不安もありました。当時は、3棟のハウス管理で精一杯でした。今では慣れて、ハウス5棟に拡大し管理しています。

3 農業の敷居はそんなに高くない

福井県は、新規就農するにあたって支援制度がしっかりしているし、地域ごとにベテラン農家もたくさんいます。まずは、その土地にあった作物を育てて様子を見る。その作物をベースにして、自分のカラーを出していければいいと思います。

私は、次はアボカドを育ててみたいんです。向き不向きはやってみたいとわからないのが農業です。常にトライ&エラーの繰り返しで、それで得られる達成感は、今までの仕事では味わえないんですね。

露地栽培



福田 孝さん

白ネギ

奈良県出身。福井県の自然環境と農業にひかれて、2016年ふくい園芸カレッジに入学。2018年に坂井市でネギ農家として就農。

白ネギの

年間スケジュール



ふくい園芸カレッジは座学だけでなく、作物を作って、販売まで体験できることがとても魅力です。また、里親農家制度があり、自分が育てたい野菜や就農地を決め、里親農家のもとで研修を受ける。私の場合、1年目は園芸カレッジで、2年目に里親の元で勉強し、3年目には就農。このスピード感には他にはないと思います。

里親農家制度のおかげで、スムーズに地域に入り込むことができ、安心して就農できる。同じエリアには、園芸カレッジの仲間が多く就農しているので、相談もできて心強いですね。

2 福井県の手厚い支援制度

どこで農業をするか、私の場合は環境が重要なポイントでした。海と趣味のスノーボードができる場所。この2つが叶うのは、東北か北陸でした。さらに、あわら市には温泉もある。こんな条件が揃うところは、なかなかありません。それで、就農地を福井県に決め、ふくい園芸カレッジに入校しました。

1 海と山、温泉まである環境

3 結果が出るものづくり

ものづくりが好きで農業を始め、今はさまざまな品種の白ネギを1年中栽培しています。福井県の白ネギは、歴史の古い関東と比べて、まだまだ栽培技術の改良の余地があります。他の産地に負けない白ネギを作っていきたいですね。農業は、真面目にやれば必ず結果が出るので、とてもやりがいがあります。



果樹



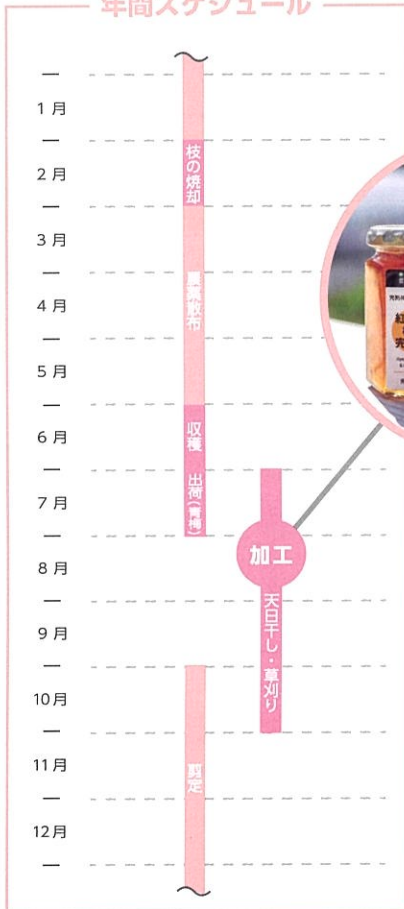
伏見 勇希さん

ウメ

宮城県出身。2016年、若狭町で地域おこし協力隊として活動しながら、ウメ農家として就農する準備を始める。2018年に、若狭町で就農。

ウメの🌸

年間スケジュール



1 一生できるものづくりをしたい

未経験でも就農できる場所を探し、新農業人フェアに参加。若狭町の福井梅と出会いました。若狭町では、地域おこし協力隊としてウメ農家の担い手を探していました。それで、ウメのことをもっと知りたくて、直接福井へ行き、福井梅を食べて驚きました。これまで食べてきたウメと全く違う。自分でも作ってみたい！と応募を決めました。

2 放棄園を開拓！

5年間放棄されていた畑を開拓することからスタートしました。放棄されて荒れていた樹を剪定したり、新しい苗木を植えて、手塩にかけて畑を作っていました。

3 ウメに捨てるどころなし

ウメの魅力は、なんといってもその加工性。ロスがほとんどないんです。そのまま出荷するものや、梅干し、さらに梅ジャムにもなります。梅ジャムを最初に食べた時は驚きましたね。これを自分でも作りたいと思い、すぐに加工の勉強を始め、商品化しました。今、試しているのは、梅干しの種を使った燻製チップ。ウメのポテンシャルの高さには驚きます。福井梅はまだまだ認知度が低いですが、しかし、発想を変えれば「レア」ということで、梅ジャムをはじめ、いろんな見せ方で、これからも福井梅の美味しさを伝えていきたいです。

水稻



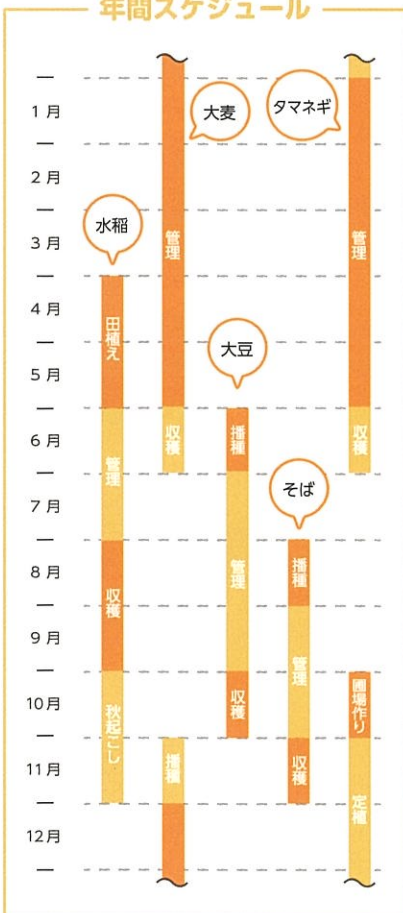
橋本 真人さん

水稻 大麦 大豆
そば タマネギ

石川県出身。2005年に福井に移住し、あわら市にある加藤農産株式会社に就業。現在取締役として、会社の経営を担う。

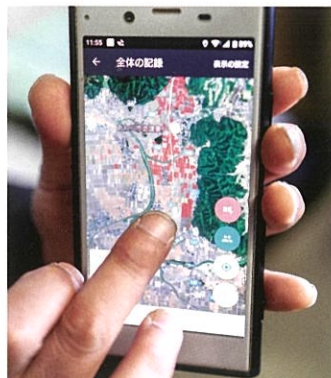
稲・麦・大豆
+水田園芸

年間スケジュール



正直、時代の流れについていくのは大変です。だからこそ、若い人材の育成に力を入れています。若い人の方が新しい機器に興味を持ち、積極的に取り組んでくれるんです。

入社して15年、農業は日々進化しています。GPS付き機械や、ドローンによる農薬散布はあたりまえ、日々の作業や、田んぼごとの農薬などの管理もアプリでやる時代です。テクノロジーの進化により、田んぼを自動運転トラクタが耕す時代はすぐそこまで来ています。



人が何かを食べて生きている以上、「農業」はなくなりません。どんな時代でも安全で信頼される美味しいものを提供する、そんな農業ビジネスをこれからもやっていきたいです。

農業の魅力は、ゼロからすべてに関われることです。大手メーカーのように、製品の一部にしか関われないのではなく、全てに関わりたい。そう思って農業を目指しました。

2 農業ビジネスは進化する

1 ゼロから100を作りたい

3 農業は飽きない商い

農業は飽きませんね。季節ごとに作業が違うので、身体で四季を感じられます。また、世の中のニーズをくみとり、新しい品種を積極的に試しながら、将来性のある一歩先の商品を創造していけることは、とてもやりがいがあります。

Conversation Meeting

「ふくい園芸カレッジで学んでいること」

～在校生と卒業生が対談～

左 | 山崎佑介さん
2020年1月入学

愛知県出身。自動車設計の仕事を経て園芸カレッジへ。あわら市で果樹（ブドウ）で就農予定。

中 | 出蔵千夏さん
2018年卒業生

福井県坂井市出身。家業を継ぐため園芸カレッジへ。露地と施設野菜、少量多品目で就農。

右 | 黒瀬公雅さん
2020年4月入学

福井県勝山市出身。実家で水稲を手伝いながら、施設野菜と露地野菜で就農予定。



ふくい園芸カレッジを選んだ理由

山：僕は非農家で、全く何も知らない状態だったので、園芸カレッジでは座学だけでなく、作物を作って売るところまで勉強できるのが魅力ですね。

黒：私の家は水稲だけをやっていたので、野菜のことは家族も知らないんです。園芸カレッジで一から学ぼうと思い、入学を決めました。

出：私は、父がプラス園芸コース（現地産地消コース）に通っていて、毎日通える新規就農者向けのコースがあるよと勧められて入学しました。

ふくい園芸カレッジの魅力と支援制度について

山：園芸カレッジって、講師が親切で、手取り足取りやれるまで付き添ってくれますよね。

黒：ほんと、農業ってわからないことがいっぱいあるんです。講師は、自分たちが気づかない栽培管理をフォローしてくれるので、安心して研修に取り組みます。

山：座学も、自分が作りたい品目について深く学べるし、経営に関

農業体験

体験

- バスツアー
- インターンシップ

研修を受けてから
就職したい方

農業で就職したい方

どんな形で
農業を始めるかを検討
どこに住み、どんな農業
をしたいか、研修や就業
の地域はどうするのか？
を知ることができます。

情報収集・相談

情報収集・事前相談

- 就農相談会
 - 就農ガイドブック
 - 県HP
 - 下記に問い合わせ
 - ・福井県園芸振興課（※）
 - ・農林総合事務所
 - ・ふくい農林水産支援センター（※）
- （※…オンライン相談可）

就農までの流れ

することから機械の使い方まで幅広いです。ハウス建設実習では、みんながハウスを建てる場所から解体までするのは、とても勉強になりましたね。

出：あとは、なんととっても、新規就農の仲間ができるのがいいですね。同じ時期に就農する人たち同士で情報交換ができるのがいい。

黒：ほんとそれは心強いですよね。

山：福井県って、支援が手厚いと思います。僕は県外から来ているので、県外出身者に補助が上乘せられるのは助かりました。住居を探す時にも、市の空き家バンクを紹介してくれるなど、いろいろサポートしてくれました。



黒：就農するときは、施設や機械などの支援制度もありますよね。

就農後の夢

山：卒業後は、僕はブドウで就農予定です。ブドウは、食べたいと思う人が買ってくれるからいい。また食べたいと思うてくれるものを作りたいです。

黒：私は地元の勝山市で就農します。地元では、就農する若い人は少ないんです。だから、自分が若い人のロールモデルになること、ファンができるくらいのおいしい野菜を作ることが目標です。



これからの人に 向けてメッセージ

山：やる気は大事。しっかりと覚悟を決めて、向かうべき方向を決めておくのがいいですね。園芸カレッジでは、見習ツアーもあるのですが、地元の先輩農家さんや研修生に話を聞くことで、入校前の判断材料にもなるのでおすすめです。

黒：やり始めてから気づくこともありますよね。私は、最初は花を栽培したいと思っていたのですが

が、コロナの状況下で花農家の厳しい現実を目の当たりにして、堅実路線として野菜に変えました。

出：野菜を作るにしても、主になるものを決めて、1年間でハウスと露地野菜を効率よく回転させていくのがいいですね。ダメな時はすっぱりあきらめて、次のものを作る。

山：連作できないものもあるし、毎年気候も違うので、トライ＆エラーの繰り返しですね。

出：台風が来たら、いつべんにダメになったりするもんね。



山：農業って100点からスタートで、どんどん減点されていくと思うんです。最終的に何点のものが作れるか、毎年状況が違います。

黒：全く同じです(笑)

出：でも、農業って何年経っても1年生って言われるくらいなので、まず、作れるかどうか不安。そして、作っても売れるかどうか不安。自分が思う値段で売れる

かどうか不安ですし、不安はつきませんね。

山：そういう意味で、里親農家制度って、実際の農家さんの考え方やノウハウだけでなくマインドも勉強になりますよね。

出：卒業してからもちよっと困ったことがあれば、里親農家さんのところへ行っていて聞いて、アドバイスをもらえるといいですね。

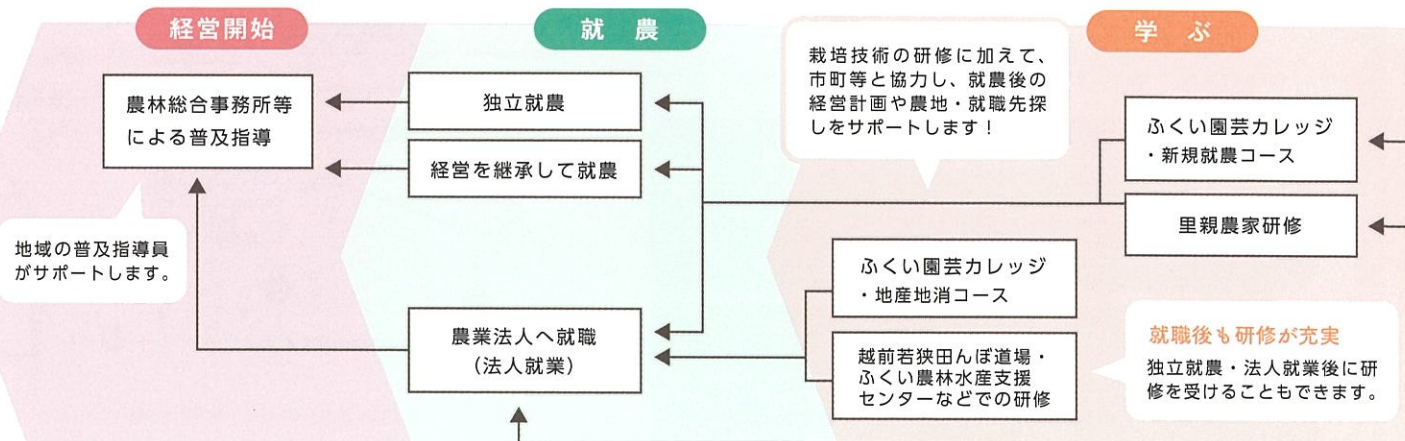
山：里親農家は、本当の親のように気遣って、手伝ってくれたりしますね。お金はいらん、酒だっって(笑)

一同(笑)



山：里親農家から地元の人も紹介してもらって、地元に入っていくというのがいい。

出：農業って孤立しがちなので、里親農家制度はお金では買えない永久サポートですよ。



ふくい園芸カレッジ

＝ おすすめ 5 つのポイント ＝

POINT 1 実践力

一人ひとりに園芸ハウスと露地畑を貸し、各自が資材の発注、種まきから収穫、販売を行います。

POINT 2 販売力

生産した商品を高く売る方法を各自で考えて、販売していただきます。もちろん、売上金は、あなたのものです。

POINT 3 農家研修

2年目は、ベテラン農家での研修に移行します。営農のノウハウ習得と農村での人脈を作ってもらいます。

POINT 4 研修品目

ミディトマトやメロン、スイカなど産地の推進品目から研修品目が選べます。

POINT 5 受講料

無料
(新規就農コース)

新規就農コースのスケジュール (トマトの場合)

1月から研修を開始すると、トマトの栽培を2回経験できます。

1月 模擬経営研修開始 **4月** 入校式
知識習得研修・農業機械研修開始

1月 里親農家派遣研修開始

1月
営農開始
(就農)

トマト半促成栽培

トマト抑制栽培

1年目:園芸カレッジで研修



2年目:里親農家のもとで研修

新規就農コース

定員 30名 期間 2年間

対象者 福井県内で新たに園芸で新規就農を目指す方 (おおむね60才未満)
受講料 無料 (テキスト代、肥料農薬費等は実費)

模擬経営研修 [入校1年目]

研修生が各自で圃場 (ハウス1棟180㎡など) を管理し、生産から販売まで独立採算で模擬経営を実施

知識習得研修

- 技術力** 野菜栽培論、花き栽培論、果樹栽培論、植物生理、病害虫の診断と防除、雑草防除、農薬の正しい使い方、土壌診断、土壌肥料など
- 経営力** 農業政策、経営戦略、経営分析、6次産業化、マーケティング、農業簿記、雇用管理、農業金融制度、農地制度など
- 販売力** 農産物の市場・流通、直販、ネット販売、契約流通、販売実習など

農業機械研修

農業機械操作技術、大型特殊運転技術、けん引運転技術など

里親農家派遣研修 [入校2年目]

里親農家 (地域の模範的な農業者) へ派遣し、農業経営を学ぶ

地産地消コース

定員 40名 期間 5月～11月
(6回 / 土曜日開催)

対象者 ・新たに園芸を始め、農産物直売所への出荷を目指す方
・直売所出荷者でさらにスキルアップしたい方
受講料 6,000円 (1回あたり1,000円)

知識習得研修

野菜栽培の基礎、出荷販売の基礎

スマート園芸コース

定員 3名 期間 1年間

対象者 ・スマート園芸技術を用い、大規模施設園芸の経営を目指す方
受講料 無料 (テキスト代実費)

お問い合わせ先

福井県農林水産部園芸振興課

福井県福井市大手3丁目17-1 TEL. 0776-20-0433
FAX. 0776-20-0650 E-mail. engei@pref.fukui.lg.jp

ふくい園芸カレッジ

あわら市井江葎50-8 TEL. 0776-78-7873
FAX. 0776-78-4044 E-mail. engei-c@pref.fukui.lg.jp



- JR 芦原温泉駅より 車で約15分
- 北陸自動車道 金津インターより 車で約20分

支援制度 の 紹介

給付対象別支援制度一覧		
就農時の年齢 ▶	50歳未満	50歳以上60歳未満
県内 在住の方	1 新規就農者育成総合対策(就農準備資金)	
	4 新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	
	7 小農具等整備奨励金	5 就農奨励金
	8 新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業)	7 小農具等整備奨励金
	9 新規就農者融資主体型補助事業	9 新規就農者融資主体型補助事業
県外から 移住の方	1 新規就農者育成総合対策(就農準備資金)	
	3 研修奨励金	2 県単就農給付金(準備型)
	4 新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	3 研修奨励金
	7 小農具等整備奨励金	5 就農奨励金
	8 新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業)	6 新規就農者住宅確保支援事業
	9 新規就農者融資主体型補助事業	7 小農具等整備奨励金
		9 新規就農者融資主体型補助事業

※それぞれの支援制度には要件があることにご注意ください ※2、3、5、6、7、9は福井県独自の支援制度です

研修期間(就農前)

1 新規就農者育成総合対策(就農準備資金)

対象者 就農に向けて研修を受講される方のうち国の交付要件(就農予定時の年齢が50歳未満など)を満たす方

給付額 年間150万円、最長2年間 ※研修修了後、就農しなかった場合は、交付金の全額が返還となります。

2 県単就農給付金(準備型)

福井県独自の支援制度

対象者 ふくい園芸カレッジの研修生で県外から移り住んで研修を受講する方(ただし、就農予定時の年齢が50歳以上60歳未満の方)

給付額 月7万5千円(年間90万円) 最長2年間 ※研修修了後、就農しなかった場合は、給付金の全額が返還となります。

3 研修奨励金

福井県独自の支援制度

対象者 県外から福井県に移住し、就農に向けて研修を受講する方(ただし、就農予定時の年齢が60歳未満の方)

給付額 年間60万円(家族連れば年間90万円) 最長2年間 ※研修修了後、就農しなかった場合は、奨励金の全額が返還となります。

就農後

4 新規就農者育成総合対策(経営開始資金)

対象者 新規就農した方のうち国の交付要件(就農時の年齢が50歳未満など)を満たす方

給付額 年間最大150万円、最長3年間 ※交付期間と同期間、営農を継続しなかった場合は、その期間に応じた金額が返還となります。

5 就農奨励金

福井県独自の支援制度

対象者 新規就農した方(就農時の年齢が50歳以上60歳未満)

給付額 (非農家出身者) 1年目180万円 2年目120万円 3年目60万円
(兼業農家出身者) 1年間180万円
(専業農家出身者) 1年間60万円
※奨励金の受給終了後、3年間営農を継続しない場合、返還となります。

6 新規就農者住宅確保支援事業

福井県独自の支援制度

県外出身の新規就農者の家賃の一部を助成

対象者 県外から福井県に移住し、新規就農した方(就農時の年齢が50歳以上60歳未満)

給付額 県1/4、市町1/4(事業費上限5万3千円/月、最長3年間) ※奨励金受給終了後、3年間営農を継続しない場合、返還となります。

7 小農具等整備奨励金

福井県独自の支援制度

経営開始に必要な小農具等の購入費の一部を助成 ※奨励金受給終了後、3年間営農を継続しない場合、返還となります。

対象者 非農家出身者

補助率 県1/4、市町1/4(事業費上限100万円)

8 新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業)

経営開始に必要な機械・設備の導入等の支援

対象者 新規就農した方のうち国の交付要件(就農時の年齢が50歳未満など)を満たす方

補助率 国1/2、県1/4(事業費上限(経営開始資金受給者)500万円、(経営開始資金不受給者)1,000万円)

9 新規就農者融資主体型補助事業

福井県独自の支援制度

認定新規就農者(就農5年以内)が融資を受け、農業用機械等を導入する際の助成制度

補助率 国3/10、県1/8~1/6、市町1/8~1/6 または 県1/4~1/3、市町1/4~1/3

福井県の農業

 **人材育成拠点** (ふくい園芸カレッジ)



坂井北部丘陵地

約1,000haある県内最大の畑作地帯。比較的降雪が少なく、多種多様な園芸品目が栽培されています。



三里浜砂丘地

海岸沿いにある長さ12km、幅2kmの砂丘地。水はけの良い砂地を活かした園芸品目が栽培されています。

福井地区

トマト **ホウレンソウ** **レタス**

- ・中心部の平野、東部・西部の中山間地帯、坂井地区とまたがる海岸沿いの三里浜砂丘地など変化に富んだ地形で構成され、水稻を中心に各地域に適した多様な農産物が生産されています。
- ・福井市近郊では、施設でホウレンソウなどの軟弱野菜やトマトなどが栽培されています。

坂井地区

メロン **スイカ** **ラッキョウ** **ナシ**

- ・広大な平野が広がる県内最大の水田地域です。大区画圃場で水稻、大麦、そば等の効率的な生産が行われています。
- ・北部に広がる丘陵地は、県内最大の園芸産地となっており、企業の農業参入による大規模栽培も行われています。
- ・パイプラインの周年通水を活用し、水田でのネギやキャベツ、ニンジンなどの生産が進められています。

奥越地区

サトイモ **キク**

- ・周囲を山々に囲まれた盆で、昼夜の気温差の大きい気候条件を活かし、サトイモや花き、そばなどが生産されています。
- ・特に、上庄地区のサトイモは、全国的に知名度が高く、身が締まっていて煮崩れないのが特徴です。

丹南地区

スイセン **ブロッコリー**

- ・中山間地が大部分を占めており、夏場の冷涼な気候を生かした高食味米や、化学肥料・農薬の使用量を削減した安心安全な米の生産が盛んに行われています。
- ・米以外にも、県花のスイセンや花ハスがブランドとして知られ、新しくブドウの栽培も進められています。

二州・若狭地区

ウメ **キュウリ**

- ・温暖な気候を活かした果樹や野菜の園芸が盛んな地域です。
- ・特に、近年では、自然光を利用した大規模施設園芸団地や、電気料金の優遇措置を利用した企業の農業参入（植物工場）が増加しています。

県内全域：**ネギ** **ミディトマト** **キャベツ**

